

横浜市福祉サービス第三者評価 評価結果総括表（保育分野）


事業所	芙蓉保育園
報告書作成日	平成30年3月12日（評価に要した期間 約7か月）
評価機関	公益社団法人 けいしん神奈川





評価方法


自己評価 （実施期間：平成29年9月20日 ～10月23日）	職員が領域ごとに自己評価票を作成し、その結果を職員全員で検討、話し合いの後、園長が全体を集約した。
評価調査員による評価方法 （実施日：平成29年11月13日、14日）	評価調査員（2名）が現地視察、書類確認、職員面接ヒアリング調査（園長、主任、保育士、看護師、調理士）を行った。職員ヒアリングは2日目の午睡時に乳児担当、幼児担当、調理担当者等の3グループ別に実施した。
利用者家族アンケート実施方法 （実施期間：平成29年10月10日 ～10月23日）	全利用者（園児）の保護者に事業者から手渡し、無記名にて記入していただき、回収箱にて回収した。
利用者本人調査方法 （実施日：平成29年11月13日、14日）	観察調査は、主に各クラスおよび園庭にて実施した。聞き取り調査は、幼児を中心に、保育中（昼食時を含む）に実施した。

評価結果


評価領域Ⅰ 利用者（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅰ-1 保育方針 の共通理解と保育 課程等の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 園の運営方針の中に、「子どもの最善の利益を考慮し…」 「子どもの意思、人格を尊重し」などが規定され、また、園目標にも「こころもからだもけんこうな子」を掲げ、子ども本人を尊重した内容になっています。 全体職員会議などで理念や保育目標について全職員が学べる場を設けています。 保育理念や保育目標については年度末に職員会議で、職員全員で振り返りを実施し、再確認しています。必要に応じ見直しをする仕組みもできています。玄関正面ホールや各クラス、連絡ノート等へ記載・掲示し、日常の保育の中で目に付く場所に掲示し、つねに心に留めています。 保育課程は保育理念、園目標に基づき作成し、全体職員会議などで周知しています。作成にあたっては、自然豊かな立地環境を活かすと共に、保護者の家庭環境、職場環境などが様々であることも理解・考慮しています。 保育課程も年度末に職員会議で、正規職員全員で振り返りを実施し、前年度の見直し・反省事項を翌年度に反映させています。 指導計画は各年齢ごと作成し、子どもの発達や理解度に加え、日々の子どもの気持ちや意見を取り入れ、指導計画に反映しています。幼児についてはお散歩や製作活動など、何をしたいのか意見を聞き、意思をくみ取り、乳児においては十分なスキンシップを心がけ、欲求・要求が満たされ、信頼関係を築くことに留意し、これらを総合的に指導計画へ反映することに努めています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画においては、集団生活を送る上での簡単な規則や子ども同士の関わりのトラブルの時には、1対1で保育士が本人に必要な時間をかけ理解、納得が出来るよう指導しています。 ・栄養士は各学年の食育活動、給食を食べている様子を観察し、食育活動の計画、給食の献立を作成しています。
<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前に入園説明会、親子面接を行い園児の遊んでいる様子などを観察すると共に、入園時の面談と児童表で家庭での様子を確認、把握しています。観察結果は職員打ち合わせや学年会で共有され、共通認識を持っています。（アンケートや児童表の記入・入園児面談記録）その際、保護者からの質問や要望について説明や話し合いを行っています ・アレルギーの有無は調査書で確認を行っています。 ・年間指導計画を作成し、それに沿って月間・週間指導計画を作成し、保護者の意見も取り入れ評価、見直しています。
<p>I-3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前に入園説明会、親子面接を行い園児の遊んでいる様子などを観察すると共に、入園時の面談と児童表で家庭での様子を確認、把握しています。観察結果は職員打ち合わせや学年会で共有され、共通認識を持っています。（アンケートや児童表の記入・入園児面談記録）その際、保護者からの質問や要望について説明や話し合いを行っています ・アレルギーの有無は調査書で確認を行っています。 ・年間指導計画を作成し、それに沿って月間・週間指導計画を作成し、保護者の意見も取り入れ評価、見直しています。
<p>I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・全園児の保護者と毎年1回、個別面談を行い、心身の発達や健康面についての面談を行い、保育と(家庭での)子育てを共有し、個別指導計画に反映しています。 ・子ども一人一人のカウブ指数を確認し栄養目標を設定しています。（栄養計算表） ・個人の様子を経過記録に記録し、全園児一括して事務室の書庫に一括保管しています。（0歳児2カ月に1回、1・2歳児4期制、3・4・5歳児2期制）必要な書類は常に職員が閲覧でき、周知出来るようにしています。 ・次年度への申し送り事項は決められた書式に記入し個人ファイルにはさみ記録し伝達しています。（児童表C）
<p>I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に配慮を要する子どもについては個別支援計画を作成すると共に、個別ケース会議を開き、指定された用紙に記入し、情報を周知しています。 ・障害、発達障害の研修に職員が参加し、受講内容、成果を全職員に発表し、研修成果を共有しています。発表会に参加できなかった職員には研修報告書としてファイルし、回覧しています。 ・障害児保育については、医療機関や専門機関との連携体制を確立し、園医とは随時連絡・相談を行っています。個別指導計画を立て、発達に応じて見直し、確認しています。 ・発達年齢に合った学年で統合保育を行い、その中で、子どもたちが障害を特別なことだと思わず、個性として自然に受け入れられるように接しています。 ・虐待が疑われ、配慮が必要な家庭に対し少しでも変化がみられるときには、時間を設け傾聴できるように配慮しています。虐待が疑われた場合、区の関係機関に相談し速やかに対応し、その後の変化についても連絡を取りながら家庭を援助しています。

	<ul style="list-style-type: none"> アレルギーのある園児には、アレルギー診断書を医師に書いてもらった上で、栄養面談を行い保護者と除去食の内容の確認を行っています。 アレルゲンの誤飲、誤食が起こらないよう、調理器具を分け食器も分かりやすいように除去食ごとに色分けして名前を記入しています。 除去食、代替食をする前に必ず面談を行い保護者、園長、担任、栄養士できちんと話し合いを行ってから提供しています。栄養が偏らにようにし、且つ、おいしい、楽しい給食に努めています。 外国籍、帰国子女などに対しては、異なった文化の共存を認め、子どもたちの異文化に対する意識を高めた保育を行っています。 意思疎通の困難な場合のマニュアルを作り全職員が見られるようにしています。
<p>I-6 苦情解決 体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 年1回定期的にアンケートを配布し、保護者の要望・意見の把握に努めています。 保護者がいつでも意見を伝えられるように玄関に意見箱を置くと共に、第三者委員、苦情受け付け担当者を玄関に掲示しています。軽易なものについては登・降園時に口頭あるいは連絡ノートなどでも受け付けています。 要望や苦情などを受け付けた場合、受け付けた職員で処置可能なものはその場で処置し、園として検討が必要なものについては、昼の打ち合わせあるいは別に機会を設け、検討し回答・処置しています。区や関係機関等の責任・権限に関与することについては、これらと連携または指導のもと検討し、回答しています。申し立て人、園長、主任保育士、第三者委員で話し合う場を持てるようにしています。 運動会など主要行事の後にもアンケートを配布し、感想や要望・意見、その他保育全般にかかわる意見なども受け付けています。 迅速な対応・解決のため要望・苦情に対してはその日のうちに情報共有し、検討し、内容はミーティングノートに記載するように努めていますが、現状での対応能力は十分とは言えません。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅱ-1 保育内容</p> <p>[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 遊びに関しては、乳幼児期にふさわしい体験が得られるように総合的な遊びを用意しています。 成長に合った多種多様な玩具を用意し、出し入れ容易な棚に収納し、安全性のチェックも毎日実施しています。 使用にあたってのルールや躰に関しても保育士が優しく教え、使用頻度や老朽化の状況などを考慮し、適宜入れ替え、更新しています。 パーテーションを用意し、遊びに合った広さや時間に配慮し、一人ひとりが落ち着いて遊べるよう環境を整えています。 絵本や玩具を多種類用意し、子どもたちに「何をしたい?」「どこに行きたい?」などの質問を自然に投げかけ、出来るだけ意見などを受け止め、活動に取り入れるようにして子どもたちの想像が膨らむようにしています。 モンテッソーリ教育を取り入れ、個々に合った活動を行えるようにしています。 園庭で野菜の栽培、収穫や田おこし、田植えの体験を行い、給食にも使用し、食育につなげています。 近隣の公園や広場などに散歩に行く戸外活動を多く取り入れ、保育士が挨拶や会話を交わす姿を見せることで、子どもたちも地域の人々と自然に挨拶を行えるようになっていきます。また、散歩に合わせて、近所の老人ホームなどの施設

や、お店を訪問し、体験や見聞を深めています。行事の際には招待状を届けに行き、より一層の交流が深まっています。

- 自由に絵を描けるような環境をもうけ、カプラやレゴブロックなど集中して遊べるようにしています。作品を保育室や廊下に展示しています。
- 月に一度のお歌の会で歌やリズムに触れ、お話の会ではペープサートや劇で物語の世界を感じられるようにしています。
- 子ども同士のケンカは手が出てしまう場合以外は、できるだけ見守りながら子どもたちで解決できるように言葉かけや働き掛けを行っています。
- 3・4・5歳児クラスは縦割りクラスなので異年齢の関わりが育っています。日常生活や行事の中で年長者に対する憧れや尊敬の念が、寝かしつけや着替えの介助などを通して年少者に対するいたわりの心が自然と育まれています。
- 障害児保育を通し、思いやりや助け合いの心が育まれると共に、障害を特別なことではなく、個性として認識される環境を作っています。
- 子どもと保育士が信頼関係を築けるよう、暖かな視線や態度で接するように心がけています。
- 0歳児から5歳児まで戸外遊びでは、特に、「手は第二の脳」、「足は第二の心臓」と捉え、手足を使った健康増進のための野外遊びを積極的に取り入れています。
- 園庭には太鼓橋・滑り台・のぼり棒・クライミングチェーン・ロッククライミング・鉄棒などの多種多様な遊具があり、バラエティーに富んだ遊びができる環境が作られています。
- 乳児クラスでは雨の日も室内の階段昇降や赤ちゃん体操を行い、年齢や発達に合った遊びや運動が確保され、幼児は毎月一回以上遠足に行き、年度末にはバス、電車、モノレールを使って江の島まで行くことにより、楽しさと体力向上の自覚につなげています。
- 屋外に出るときは、日よけが付いている帽子をかぶり、紫外線への対策もしっかり取られています。熱が高めの場合や体調が悪い場合などは、活動内容を変更し室内などでゆったり過ごせるようにするなど、遊びの中でもしっかり健康管理の施策が講じられています。

Ⅱ-1 保育内容

[生活]






[生活]

- 食事については、楽しい会話や雰囲気の中でできる環境が確保されています。ランチルームと保育室を分け、専用のスペースを設け、清潔なテーブルクロスをかけ、花や植物を飾っています。(幼児クラスのみ)
- 自分で食べることを大切にし、自然な励ましの声をかけて食べる意欲を育てることに努め、無理に保育士が口に運んだりしないようにしています。また、楽しく食べられるよう食事の内容、色どり(赤・緑・黄色)、盛り付けを工夫しています。
- 乳児クラスでは給食やおやつの後、エプロンを自分で片付けられるように優しく言葉かけをしながら食に関する躰も行っています。
- 離乳食を始めるときは保護者とは個人面談や試食した上ではじめるようにしています。離乳食は生まれて初めてのひとさじから栄養士の手作りで始まり、言葉かけをしながら一人一人の顔を見て丁寧に食事の介助を行っています。食材は安全・安心の国産食材を厳選しています。
- 授乳の際は胸の側で子どもを抱き、目と目を合わせ、落ち着いた環境の中で行っています。授乳の記録を個人ノートに記録し複写を園でファイルしています。
- 乳児の母乳哺育の推進を行い「昭和57年の冷凍母乳の哺育」に取り組み実行しています。0歳児のクラスで母乳についての話しをし、母乳の良さを啓蒙しています。
- 食に対して関心が高まるように食育(植物・野菜・稲の栽培)調理活動を行っ

ています。保育室と給食室はガラス越しに隣接し、調理の様子を日常的に目にし、音を聞いたりにおいがするなどにより、興味がわくような環境を作っています。魚をさばいたり、珍しい食材を調理する場合はその様子をみんなで見学する機会を設けています。

- 子どもたちが調理過程に携われるように、食材に触れたり、下ごしらえ等を手伝う機会も設けています。
- 給食の先生と関わり、調理している姿が見られるようになっており、食事のあいさつを通して生産者、調理する人をはじめ、たくさんの人の手をかけて自分の口に入れることを知らせ、すべてに感謝や思いやりの心を育て、食を通して知識、行儀、礼儀、マナーを学んでいます。
子どもたち自身が配膳・片付けをするように躰けられています。5歳児には給食前に栄養士が食物についての説明を行っています。
- 行事の時には特別メニュー（行事食）を取り入れ、日本の食文化を伝えています。
- 食器は陶器を使用し、主食、汁物、主菜、副菜をそれぞれ区分して盛り付けています。ひびや破損については調理担当者と保育士がダブルチェックし安全を確認しています。
- 食材は安全を考えて、努めて無農薬、減農薬のものを使用すると共に生産者が分かるものを使用し、給食だよりや献立表配布により保護者にも伝えています。
- 個々の発達を見ながらスプーンや箸などの食具を変えています。
- 栄養士や調理担当者が子どもたちの食べているランチルームに出向き、今日の給食について旬や材料の話をしたり、保育士と情報交換をして子どもたちが食べやすいように工夫するなど、子どもの喫食状況の改善に努めています。
- 給食だよりで食育活動の様子等を伝えたり、食のセミナーを開催し、保護者と地域の人を対象に講話や給食の試食会を行っています。
- 登降園時に悩みのある保護者と話し相談にのっています。
- 給食の実物を検食台に置き、保護者にその日の給食、おやつ、夕食を伝えています。
- 午睡については4、5歳児は希望制にしています。子どもが安心して入眠できるように身体をさすったりパーテーションを使い部屋を仕切り、あるいはカーテンを閉め保育士が子守唄を歌ったり、オルゴールの音楽をかけて落ち着いた雰囲気を作り、日々の子供の状況に応じて落ち着いて眠れる環境を作っています。
- 入眠時は0、1、2歳児はSIDSの対策として3分ごとに呼吸を確認しチェック表に記入すると共に、寝返りの出来ない月齢の乳児は安全のため仰向けに寝かせています。
- 5歳児は11月から、小学校入学に向けてお昼寝をしない日を設けています。
- トイレトレーニングを開始する前には面談を行い、保護者と連絡を密接に取りながら個々の状態に応じて進めていけるようにしています。この面談には職員が順番で同席し全職員がトイレトレーニングの時の子どもの心を認識し指導できるようにしています。
- トイレトレーニングは個々の状態に応じて家庭で出来る状況であるか面談を行い、連絡を取りながら進めています。
- 担当保育士が一人一人の排泄のリズムを把握して、おむつ交換表を作成し1時間ごとに子どもの排泄状況をチェックしています。
- トイレトレーニング中は保護者に排泄時間、便の状況などをトイレトレーニング表に記入すると共にその日の様子を口頭で伝えています。

<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理</p> <p>【健康管理】</p> 	<p>【健康管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士は子どもの健康に関するマニュアルや健康台帳の内容、一人一人の健康状態を把握しています。健康診断や歯科健診の結果も口頭や書面で保護者に通知し、日常の保健・衛生指導に活かしています。 ・内科健診の時に園医に対し、保育士や保護者が子どもの気になることを相談・質問しています ・日常の様子については登園時に家庭での様子を保護者から聞き、降園時には園での様子を保護者に伝えています。 ・一人一人のかかりつけの医師の緊急連絡先を児童票に記入し、急病や怪我の場合でもスムーズな引継ぎが可能な体制を保持しています。 ・歯ブラシ指導と口腔検査を行い保護者に歯磨きの大切さを伝え、食事の後に保育士が仕上げ歯磨きを行っています。 ・食物と身体の関係が分かる食べ物の話などを絵本やスライドで見せ、子どもたちの健康に関する意識の高揚を図っています。 ・感染症への対応については、「感染症対応マニュアル」を作成し、全職員が把握できるようにしています。緊急連絡先を常に把握し、速やかに対応できる体制をとっています。保育中に発症し、すぐにお迎えに来られないときは保健室で体調の変化を記録して隔離保育を行い、特に乳児クラスにうつらないように注意しています。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理</p> <p>【衛生管理】</p> 	<p>【衛生管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室、トイレなどに掃除チェック表がありそれに基づいて清掃を漏れなく行い、保育室に入室する前に必ず手洗い、うがいをしてから入室しています。保健所の指導によるノロウイルスなどのセットを用意しています。 ・嘔吐や排泄処理の用具が常備されマニュアルに基づいて清掃されています。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理</p> <p>【安全管理】</p>  <p>(</p>	<p>【安全管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震時の転倒防止を施し、毎月園内の安全点検を行っています。 ・事故災害マニュアルを作成し、全職員が周知し行えるようになっていきます。 ・地域で行われている防災の研修などに積極的に参加し、避難訓練、消火訓練を毎月行い、各種災害を想定して訓練を行っています。園長はじめ複数の職員が救急救命法を習得しています。 ・防犯についてはセコムへの緊急連絡体制があります。

Ⅱ－３ 人権の尊

重



- 子どもの自尊心を認め気持ちを受け止めるよう心がけ実行しており、乳児会、幼児会や打ち合わせで子どもの気持ちの変化を話し合い発達に応じた言葉掛けをするよう心がけています。
- 子どもの呼びかけに対してきちんと対応し、命令口調、否定口調ではなく「～しましょう」という言い方をしています。子どもの気持ちに寄り添って話を聞き理解しやすい言葉や話し方で子どもの気持ちを受け入れ指導しています。
- 子どもの名前は「～ちゃん」「～くん」をつけ呼び捨てにしない。子どもが自分で考え行動するよう励まし言葉かけをしています。声の大きさの表を貼って大きな声を出さないよう保育士も子どもも意識付けを行っています。
- パーテーションなどを利用し子どもが落ち着いて活動できるようにし、プライバシーも守れる様にしています。
- 一人の子どもの服が汚れた時の着替えをみんなの前で行わないよう配慮し、外部からの視線にも注意しています。
- 守秘義務について全職員が参加する職員会議で周知し、研修に参加し学ぶとともに、個人情報の取り扱いについては多くの機会をとらえて全職員に周知しています。ボランティア、実習生マニュアルにも守秘義務について明記されオリエンテーションに伝えていきます。
- 個人情報の取り扱いについて保護者にはクラス懇談会やアンケートを通して説明し理解を得ており、ホームページ作る時に写真を載せてよいかアンケートを取っています。
- 児童票など個人情報のあるものは施錠出来る棚に保管されています。
- 性差についてのマニュアルがあり、言葉によつての性差を言わないように心掛けています。色によつて男女を決めないようにしています。

Ⅱ－４ 保護者と



の交流・連携






- 入園説明会や入園式で基本方針を保護者に伝えていきます。クラス懇談会や個人懇談会で基本方針、目標を説明し振り返りも行っています。
- 園目標を保護者の目の止まりやすい所に掲示し・保護者の意見を聞くために意見箱を設置しています。またホームページに基本方針、目標を載せています。
- 園だより・クラスだより・懇談会・連絡ノートなどに園の目標や基本方針などを載せています。
- 毎日保護者と一日の出来事、家庭での様子を伝えあっています（乳児は個人ノート・幼児はみんなのノート）。個人連絡ノートを作り保護者と情報交換を行っています。
- 随時個人面談を行い、定期的に懇談会を行っています。また年間行事予定表を4月に配布しています。
- お話し室を設置し気軽に相談出来るように工夫し、わからないことがあれば、園長や主任に相談できるよう機会を作っています。
- 相談は内容に応じて話し合い、質の高い対応ができるようにし、常に職員間でも話し合わせ、適切な助言が出来るように配慮しています。
- 園だより、クラスだよりを定期的に発行し、2、3、4、5歳児はみんなのノートでその日のクラス、子どもの様子を知らせています。
- 保育参観、懇談会を行い様子が分かる様にしています（みんなのノート・園だより・懇談会・アルバム・ホームページ）。また日々の保育の様子を写真にとりアルバムにして保護者に渡しています。
- 保育参加についての年間行事予定表を配布し、保育参加に参加された保護者の声や当日の子どもの様子を園だよりに載せています。
- 親子運動会でのお手伝いや「荒馬」に5歳児の保護者の希望者は参加しています。懇談会、父母会が行われた際は議事録で内容を周知しています。

- 父母会との会議を定期的で開催し、懇談会を行っています。行事ごとに保護者からの感想を頂いて意見を汲み取っています。
- 父母会主催のバザーを行っているとともに、保護者から要請があった時は場所を提供し、保護者から意見を聞き保育に反映しています。
- 地域の子育て支援ニーズを把握するため、園長会や幼保小連携協議会に出席し、子育て支援事業の一環で、園庭開放・園内開放を行っており、園内開放の際「育児相談」を設け悩みや要望を聞く機会を作るとともに、町内会の行事にも参加しています。
- 地域の他園職員交換研修を行って、職員会議の中で話し合いを行っています。
- 園庭開放、交流保育を行い、また食のセミナーや子育てセミナーなど地域の方も参加出来る行事を設けています。




評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の子育て支援ニーズを把握するため、園長会や幼保小連絡協議会（以下「幼保小」）に出席し、子育て支援事業の一環で、園庭開放・園内開放を行っており、園内開放の際「育児相談」を設け悩みや要望を聞く機会を作るとともに、町内会の行事にも参加しています。 • 地域の他園職員交換研修を行って、職員会議の中で話し合いを行っています。 • 園庭開放、交流保育を行い、また食のセミナーや子育てセミナーなど地域の方も参加出来る行事を設けています。
<p>Ⅲ－２ 保育所の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 保育園の専門性を生かした相談等を、ホームページや園外の掲示板に掲示を載せ、地域に情報提供を行っており、施設見学の際、希望があれば個別に育児相談を行っています。 • 区の園長会、地域の関係機関、団体等をリスト化し情報を共有する体制を作り、幼保小、町内会など関係機関の担当者を決めています。 • 関係機関の連絡先などをまとめてファイルにしています。種別ごとの一覧や利用者別のリストを整備し職員が必要に応じて利用できるようになっていました。 • 他の機関、団体の通信や情報が整理されておりその情報を活用して連携を図っています。




評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅳ-1 保育所の 地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戸外保育を多く取り入れコースごとに交流や挨拶などし、行事の前には子どもたちと一緒に招待状を地域の方に届けに行き、行事にぜひ参加して頂けるように声を掛けています。 ・ トイレを開放して、気軽に利用して頂けるようにしています。 ・ 幼保小の研修にも参加し、運動会や行事などに参加し、また自治会や町内会の行事に積極的に参加しています。 ・ 地域の調整会議に参加し、多目的広場の掃除に参加しています。 ・ 子育てセミナーなどを開き育児相談や栄養面談を行っています。 ・ 地域のグラウンドを使用してもらい、また運動会や行事に招待して頂き、子どもたちと一緒に参加しています。 ・ 交流保育を行い、園外の子どもの交流も行っているとともに、幼保小の活動に積極的に参加しています。 ・ 学童や福祉施設などのイベントのチラシを園内に掲示、配布し、保護者に参加を勧めています。また町内会主催の神社のお祭りに園児と共に参加しています。
<p>Ⅳ-2 サービス 内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページで情報を提供しており、園の前に掲示板を設け地域の方にも気軽に園の情報を知ってもらえるようにし、入園希望者への施設見学を実施し保育内容や年間行事等を伝え、その他質問を受けられる体制をとっています。また毎月発行の園だより、クラスだより、給食だよりなどを掲示板に掲示しています。 ・ 問い合わせや見学時の対応マニュアルを作成しています。 ・ 市の配布物や問い合わせ時に施設見学が出来る事を伝え、施設見学者記録（質問記録、個人相談記録）を整備しています。 ・ 園の案内を配布すると共に各クラスの特徴、発達に応じた保育の説明、職員の紹介、園の目標、食育目標、保護者とのコミュニケーションを大切にしていることなど口頭や掲示で伝えています。
<p>Ⅳ-3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアの受け入れマニュアルを作成しています。 ・ 中学校の職業体験、高校のインターシップを受け入れています。 ・ 受け入れ担当を決め、活動中の指導・相談にのり、受け入れ記録を整備するとともに、ボランティアに感想を聞き、園だよりに掲載しています。また職員の打ち合わせ等で実施状況などを伝え、次の機会に活かしています。 ・ 実習生の受け入れマニュアルに基づき、受け入れ方針や受け入れ期間、内容等を説明し、受け入れ時には担当を決め、実習中の指導・相談にのり、受け入れ記録を整備しています。 ・ ボランティアに感想を聞き、園だよりに掲載するとともに、実習生の感想や気づきを職員の打ち合わせ等で伝え、次の機会に活かしています。 ・ 受け入れ説明会に参加し、学校と定期的に意見交換の場を設けています。

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>V-1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 採用のため、全国の学校へ求人及び採用試験の周知、ハローワークへの求人を3か月ごとに更新してます。 職員には年1回「自己評価表」「一年間の反省」「来年度の希望」のシートを提出し、達成度を確認し、次の課題につながるよう面接を行っています。職員の経験に応じた研修計画を立て（研修年間計画）参加させています。 保育に対する価値観、知識、技術が総合的に身に付くようスーパーバイザーを活用しています。 園内研修、園外研修参加記録、研修記録を整備すると共に、感染症予防など、外部から講師を招き研修を受けられる体制を整えています。 研修報告書を元に、主担任会議、学年会で発表し、意見交換を行っています。 経験年数を考慮した職員の組み合わせをし、指導担当者、指導の細やかさなどに配慮し、具体的にコミュニケーションを図る工夫として、オリエンテーション、研修期間320時間、毎月の職員会議、乳児会、幼児会に参加しています。 年度初めに保育士マニュアル及び業務マニュアルを指導資料として使用し、職員に配布しています。
<p>V-2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 第三者評価について、感染症予防研修、荒馬座など、外部から講師を招き技術向上の研修を受けられる体制を整えています。 姉妹園同士の交流や他園への研修を行い、技術の向上や指導を受けられるようにしています。 私立園長会や市の保育運営課の説明会・学習会・研修会・新聞・情報誌を駆使して運営を行い、方向性を明確にする為に情報の収集・分析を行っています。 自己評価の用紙は、継続して使用し、年度で色分けをして記入することで、経年的に評価ができるようになっていきます。色分けにより、去年より優れた事項、行き届かなかった事項を把握しやすくなっています。 毎年、園内研修・職員会議等でその年の振り返り、保育所としての自己評価を行っています。
<p>V-3 職員のモチベーションの維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか、必要に応じて園長、主担任、学年担当職員を交えて会議を行ない、文書でも提出させ把握しています。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 組織及び職員が守るべき法・規範・倫理について、必要に応じて園長、主担任、学年担当職員を交えて会議を行っており、就業規則に記載しています。 園内研修を行い共通理解できるようにし、文書でも提出させ把握しています。 ゴミ減量化について、全職員が年度始めにゴミを実際に分別して学習しています。地域活動の一つとして資源ごみ等のリサイクル物の協力を行っています。 園庭および外周の緑の緑化向上のため、担当の職員が季節を考えた植物を植立し、環境整備しています。 宅配の包装紙、梱包用紙、段ボール等はゴミにせず、園児たちが絵をかいたりして、作品制作に再利用しています。
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 保育園の理念や基本方針等について、年度初めのオリエンテーションや職員会議で確認しており、必要に応じて文章の配布、指導を行っています。 重要意思決定にあたり、職員会議、主担任会議、乳児会、幼児会、給食会議を通して情報や意見集めを行ない、緊急時は毎日行われる打ち合わせで知らせ、説明・質問に答えています。 クラス懇談会、個人面談、園だより、アンケートを活用するとともに、個々の送り出しや相談時に意見交換を行っています。 主任クラスの職員は、クラス日誌、園日誌に記入されている業務状況を確認し把握するシステムがあり、各園の合同主担任会議を行って学びあっています。 毎日職員の健康観察を行い園長に報告し、仕事の進行状態を確認すると共に、朝・昼・夕方と仕事がスムーズに行われているかクラスの様子を見に行き助言を行ったり質問に答えたりなど、スムーズに仕事が行えるようにしています。 主任は個々の職員がより良好に保育を行えるよう研修、休暇、行事などを園長と相談しながら調整し、職員の研修の参加の体制作りや行事のスムーズな進行体制を考えています。 法人の中で主担任会議を行い意見交換など保育の向上に努めています。 年度初めに職員の指導担当者を決めて、仕事の相談や精神面のケアを行うシステムを作っており、その指導の総括を主任が行えるようにしています。 主任の仕事を少しずつクラス主任に委譲し、主任業務の引き継ぎを行い育成に取り組んでいます。
<p>VI-3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 法人内の合同の園長会・主担任会議を開催し議論しています。 事務局を作り、事務の合理化を図っています。 保育園経営コンサルトの助言を受け、園の組織化を進めています。 各種の園長研修会に積極的に参加し、国や横浜市、戸塚区の動向、保育事業の方向性を見極め進むべき方向を明確にし、園長・主任を中心に会議や研究会を行っています。 初任施設長研修会、防火管理者研修への参加を計画しています。 福祉会計サービス、労務士の指導や意見と取り入れています。

利用者家族アンケート

〔結果の特徴〕

◆実施方法

- ・ 保育園から全園児の保護者に配布し、無記名にて回答。
- ・ 評価機関が設置した回収箱に各保護者が投函し、評価機関が回収。

◆配布数：67 回答数：51 回収率：76.1%

※同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

◆園の基本理念や基本方針について、「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者の割合は合わせて74.8%で、その基本理念や基本方針について、「賛同できる」と、「まあ賛同できる」と答えた保護者を合わせた割合66.7%を超える保護者の賛同を得ています。

◆各項目の中で、満足度の割合が比較的高かった項目（「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合が90%以上）は下記のとおりです。

○お子さんが入園する時の状況について

- ・ 入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については（90.2%）

○日常の保育内容について

「遊び」

- ・ クラスの活動や遊びについては（お子さんが満足しているかなど）（90.2%）
- ・ 子どもが戸外遊びを十分しているかについては（90.2%）
- ・ 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては（92.2%）

「生活」

- ・ 給食の献立内容については（92.2%）
- ・ お子さんが給食を楽しんでいるかについては（90.2%）
- ・ 基本的な生活習慣（衣類の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては（94.1%）
- ・ お子さんの体調への気配りについては（94.1%）

○保育園の快適さや安全対策などについて

- ・ 感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については（92.2%）

○職員の対応について

- ・ あなたのお子さんが大切にされているかについて（92.2%）
- ・ あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについて（94.1%）

○保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか

- ・ 総合満足度は（76.5%）

◆各項目の中で、満足度の割合が比較的低かった項目（「不満足」と「どちらかといえば不満足」を合わせた割合が20%以上）は下記の通りです。

○お子さんが入園する時の状況について

- ・ 園の目標や方針についての説明について（21.6%）
- ・ 費用やきまりに関する説明について（60.8%）

○保育や行事の年間計画について

- ・ 年間の保育や行事についての説明には（35.3%）
- ・ 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては（66.7%）

○日常の保育内容について

「生活」

- ・ おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては（21.6%）

○保育園の快適さや安全対策などについて

- ・ 施設設備について（33.3%）
- ・ 外部からの不審者侵入を防ぐ対策については（21.6%）

○園と保護者との連携・交流について

- ・ 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会について（23.5%）
- ・ 園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供について（21.6%）

- ・園の行事の開催日や時間帯への配慮について（35.3%）
- ・送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については（27.5%）
- ・保護者からの相談事への対応について（29.4%）
- ・開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については（25.5%）

○職員に対応について

- ・意見や要望への対応について（33.3%）

◆自由意見について

○自由意見については、保育士に対する御礼や感謝のコメントが多数ありました。一方で「園での写真撮影の禁止について改善して欲しい」、「意見や要望への対応が不十分、遅い」、「園の行事の開催日や時間帯についてもっと配慮して欲しい」「年間の保育や行事に、保護者の要望や意見をもっと活かして欲しい」、「費用やきまりに関し、もっと納得できる説明が欲しい」などの苦情や要望が多数寄せられました。

◆まとめ

○総合満足度は76.3%となっています。

○「日常の保育内容（「遊び」と「生活」）」と「職員への対応」についての満足度が高く、お子さんが大切にされていること、楽しく充実した日々を過ごしていることを実感し、保育士はじめ職員に対する信頼と感謝の気持ちの表れと思われまます。しかしながら、自由意見では、園に対して多くの苦情や要望が寄せられており、これらに関して早急かつ的確な改善措置が望まれます。

■保育園の基本理念や基本方針について

問1	よく知っている	まあ知っている	どちらとも いえない	あまり知らない	まったく 知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育 目標・保育方針をご存知 ですか。	9	31	8	3	0	0	51
	17.6%	60.8%	15.7%	5.9%	0.0%	0.0%	100.0%

(付問)	共感できる	まあ共感できる	どちらとも いえない	あまり 共感できない	まったく 共感できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保 育方針は賛同できるものだ と思えますか。	15	19	7	3	0	7	51
	29.4%	37.3%	13.7%	5.9%	0.0%	13.7%	100.0%

■保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れ方については	20	22	1	0	7	1	51
	39.2%	43.1%	2.0%	0.0%	13.7%	2.0%	100.0%
その他・対応が丁寧だった							
入園前の見学や説明など、園 からの情報提供については	12	27	7	3	2	0	51
	23.5%	52.9%	13.7%	5.9%	3.9%	0.0%	100.0%
その他・園から一切の撮影ができないとはきいていない。							
園の目標や方針についての説 明については	12	27	7	4	1	0	51
	23.5%	52.9%	13.7%	7.8%	2.0%	0.0%	100.0%
その他							
入園時の面接などで、お子さ んの様子や生育歴などを聞く 対応については	22	24	2	2	0	1	51
	43.1%	47.1%	3.9%	3.9%	0.0%	2.0%	100.0%
その他							

保育園での1日の過ごし方についての説明には	17	27	5	2	0	0	51
	33.3%	52.9%	9.8%	3.9%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	3	12	13	18	5	0	51
	5.9%	23.5%	25.5%	35.3%	9.8%	0.0%	100.0%
その他 ・だんだんと金額が上がっていった気がする。特に今年度。							

問3 保育や行事の年間計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事の説明については	9	24	10	8	0	0	51
	17.6%	47.1%	19.6%	15.7%	0.0%	0.0%	100.0%
その他 ・保育以外の行事が多すぎる。							
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	4	8	16	18	5	0	51
	7.8%	15.7%	31.4%	35.3%	9.8%	0.0%	100.0%
その他 ・保育参加とが多すぎる。 ・出しても通らないと周りの保護者から聞いた。 ・要望してもきいてもらえない。 ・平日に行事があると参加できない。 親が見れないのに、写真さつえいもふかなのが不満。							

問4 日常の保育内容について

「遊び」について		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	32	14	4	1	0	0	51	
	62.7%	27.5%	7.8%	2.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
その他								
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	29	17	4	1	0	0	51	
	56.9%	33.3%	7.8%	2.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
その他								
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	29	15	3	0	4	0	51	
	56.9%	29.4%	5.9%	0.0%	7.8%	0.0%	100.0%	
その他								
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	27	18	3	1	2	0	51	
	52.9%	35.3%	5.9%	2.0%	3.9%	0.0%	100.0%	
その他								
遊びを通して友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	26	18	6	1	0	0	51	
	51.0%	35.3%	11.8%	2.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
その他								
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	28	19	2	1	0	1	51	
	54.9%	37.3%	3.9%	2.0%	0.0%	2.0%	100.0%	
その他 ・ここは全面的に信頼しています。他園より先生が熱心です。本当に感謝しています。								

「生活」について	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答	計
	給食の献立内容については	29 56.9%	18 35.3%	2 3.9%	2 3.9%	0 0.0%	0 0.0%
その他 ・そのとおり提供されていなければ意味がない。							
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	31 60.8%	15 29.4%	3 5.9%	1 2.0%	1 2.0%	0 0.0%	51 100.0%
その他 ・好き嫌いを無くす為に、食べさせることは良いとおもうが、泣きながら無理やりたべさせるのは、やりすぎかと思われる。							
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	34 66.7%	14 27.5%	3 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	0	51 100.0%
その他							
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	30 58.8%	14 27.5%	4 7.8%	2 3.9%	1 2.0%	0 0.0%	51 100.0%
その他							
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	23 45.1%	14 27.5%	7 13.7%	4 7.8%	3 5.9%	0 0.0%	51 100.0%
その他 ・かぶれている。布おむつはやめるべき。 ・少しムリやり早めにはずした気がする。							
お子さんの体調への気配りについては	24 47.1%	24 47.1%	1 2.0%	2 3.9%	0 0.0%	0 0.0%	51 100.0%
その他							
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	26 51.0%	14 27.5%	4 7.8%	5 9.8%	2 3.9%	0 0.0%	51 100.0%
その他 ・かみつきをされたにもかかわらず、説明責任を果敢たさず、原因追及や改善策も提示されなかった。							
問5 保育園の快適さや安全対策などについて							
	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	9 17.6%	23 45.1%	12 23.5%	5 9.8%	2 3.9%	0 0.0%	51 100.0%
その他 ・保護者の清掃時、汚い所が多すぎる。排煙窓が汚れたまま ・トイレの造りが気になる。 ・もんが誰でも入れるつくりになっている。							
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	19 37.3%	25 49.0%	5 9.8%	1 2.0%	0 0.0%	1 2.0%	51 100.0%
その他							
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	12 23.5%	27 52.9%	8 15.7%	3 5.9%	1 2.0%	0 0.0%	51 100.0%
その他							
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	20 39.2%	27 52.9%	3 5.9%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	51 100.0%
その他							

問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談など による話し合いの機会につい ては	13	25	5	7	1	0	51
	25.5%	49.0%	9.8%	13.7%	2.0%	0.0%	100.0%
その他 ・平日昼にやらないで欲しい。・時間設定が早い。 ・兄弟児が別の日に面談となると、仕事をして子供をあずけているのに、兄弟分休みをとらなければならないのは不満。							
園だよりや掲示などによる、園 の様子や行事に関する情報提 供については	10	30	5	6	0	0	51
	19.6%	58.8%	9.8%	11.8%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							
園の行事の開催日や時間帯へ の配慮については	7	26	7	11	0	0	51
	13.7%	51.0%	13.7%	21.6%	0.0%	0.0%	100.0%
その他 ・掲示だけでは不十分。・行事に保護者をまきこまないで欲しい。・行事が多すぎる。 ・平日見に行けないことが多いので残念。							
送り迎えの際、お子さんの様子 に関する情報交換については	15	21	8	6	1	0	51
	29.4%	41.2%	15.7%	11.8%	2.0%	0.0%	100.0%
その他							
お子さんに関する重要な情報 の連絡体制については	14	29	4	4	0	0	51
	27.5%	56.9%	7.8%	7.8%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							
保護者からの相談事への対応 には	14	21	8	7	1	0	51
	27.5%	41.2%	15.7%	13.7%	2.0%	0.0%	100.0%
その他							
開所時間内であれば柔軟に対 応してくれるなど、残業などで 迎えが遅くなる場合の対応に ついては	17	19	8	5	2	0	51
	33.3%	37.3%	15.7%	9.8%	3.9%	0.0%	100.0%
その他 ・契約内容の範囲内であれば対応してもらえるが、「外」だと厳しい。ルールなのであたりまえだが。 ・1分でも過ぎたら定額というのがいがかかなものか..							

問7 職員の対応についてうかがいます。

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にさ れているかについては	29	18	2	2	0	0	51
	56.9%	35.3%	3.9%	3.9%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							
あなたのお子さんが保育園生 活を楽しんでいるかについ ては	32	16	3	0	0	0	51
	62.7%	31.4%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							
アレルギーのあるお子さんや 障害のあるお子さんへの配慮 については	22	19	2	0	6	2	51
	43.1%	37.3%	3.9%	0.0%	11.8%	3.9%	100.0%
その他							
話しやすい雰囲気、態度であ るかどうかについては	28	17	3	2	1	0	51
	54.9%	33.3%	5.9%	3.9%	2.0%	0.0%	100.0%
その他							

	12	20	9	8	2	0	51
意見や要望への対応については	23.5%	39.2%	17.6%	15.7%	3.9%	0.0%	100.0%
	その他 ・まったくいうことをきかない。理事長等同族経営だからか？ ・先生方は意見を聞いてくださるが、理事長は保護者の意見をきいてくださるよう感じない。 ・あいまいな回答						

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	—	計
総合満足度は	12	27	7	4	1		51
	23.5%	52.9%	13.7%	7.8%	2.0%		100.0%

利用者本人調査（保育観察）

【0歳児】

〈保育の様子・子どもの様子〉

午前の遊びの時間を観察しました。初めは外からガラス越しに見ていると、よちよち歩きしている子ども、ボール遊びしている子ども、保育士に絵本を読んでもらっている子どもなど様々でした。我々に気付くと「誰だろう」といった表情で入り口の方に近づいて来ましたが、部屋の中に入ると、びっくりして後ずさりしながら保育士のほうに戻り、しがみついていた。「大丈夫よ。みんなが楽しく遊んでいるところを見に来てくれたのよ。」と言われると、安心したのかまた寄ってきました。「こんにちは！」と挨拶してくれました。

【1歳児】

〈保育の様子・子どもの様子〉

午前の遊びの時間を観察しました。絵本を読んでもらっている子ども、積み木遊びをしている子どもなど様々でした。絵本を読んでもらっている子どもは、みんな真剣に絵本を見、保育士の読み上げる話に耳を傾けていました。積み木遊びをしている子どもは、一人ひとりが自分の好きなように積み上げていましたが、ほかの子どもの様子が気になる子どももいて、自分も同じようにしようとする場面も見受けられました。「自分独自、自分流」よりも、まだ「みんな一緒」という意識が強いようでした。

【2歳児】

〈保育の様子・子どもの様子〉

午後のおやつ後の遊びの時間を観察しました。絵本を読んでもらっている子ども、自分で読もうとしている子ども、積み木遊びをしている子どもなど様々でした。積み木遊びをしている子どもは高く積み上げようとしていましたが、ある程度までは高くなっても、なかなか自分の思う高さにはならず崩れてしまいます。しかしながら、何度も何度も挑戦していました。チャレンジ精神が芽生えているようでした。

【3歳児】

〈保育の様子・子どもの様子〉

園庭での遊びを観察しました。園庭を元気に走り回ったり、ボール遊びや鉄棒で遊ぶ子など様々でした。そのうち、誰かが外柵のそばに何かを見つけ、何人かの子供が集まっていました。行ってみると大きなカマキリがいて、その様子を皆で見っていました。秋もそろそろ終わりのころでだいが弱っているようにも見受けられましたが、捕まえようとはせず、むしろみんなでその様子を見守っていました。夏の盛りには多くの昆虫を飼っていたようですが、それらを通して、生き物に対する慈しみの心が育まれているようでした。

〈子ども本人からの聞き取り〉

「カマキリ捕まえないの？」と聞くと「弱っているし...」「ここからは届かない」とか「見ているだけでいい」などの返事が返ってきました。

【4歳児】

〈保育の様子・子どもの様子〉

食事の時間を観察しました。当番の「いただきます」の声で食事が始まり、みんなでいろいろな話をしながら楽しそうに食べていました。話題はウルトラマンや怪獣、妖怪の話など様々で次々に変わっていききました。調査員の私には、お父さん、お母さんやおじいさんなど家族の話やテレビの話を一息懸命語ってくれました。他人に上手く説明しようとする気持ちが伝わってきて、成長を感じました。

〈子ども本人からの聞き取り〉

「おじさんいくつ？」「〇〇才だよ」「どこから来たの？」など一般的な会話から始まりましたが、話題はすぐに昨日のテレビの話になり、「おじさんも見た？」と聞かれ、「見なかったよ」と言うと、見ていない私にも分かるようにより詳しく説明しようとする気づかい、心づかいを感じました。

【5歳児】

〈保育の様子・子どもの様子〉

食事の前の様子を観察しました。食事の前におおぞう組の園児が給食室の前に集まって、食育の一環として、栄養士からの話を聞いていました。テーマは「よく噛むことの大切さ」でした。食事の時よく噛むことにより、唾液が沢山出て消化が良くなり、栄養をしっかり吸収でき、丈夫で元気な子になれるという趣旨でした。子どもにも分かるような易しい言葉や語り掛けで、全員が栄養士の先生を真剣な眼差しで見つめ、話を聞いていました。食育を重視した保育が平素から継続的に行われているためか、園児も興味をもって聞き入り、しっかり理解していることがその表情から感じられました。

〈子ども本人からの聞き取り〉

栄養士の先生の話が終わった後で、「先生の話、おもしろかった？」と聞くと「うん！」答えてくれましたが、内容や話し方がとても上手で、子どもたちは聞き入っていました。「いつも楽しみにしているんだ」そうです。

事業者コメント

第三者評価を受審するにあたり、評価票を基に全職員で勉強会を行い、保育の内容の確認、見直し、共通理解が出来ました。

この度の受審により、当保育園の良いところ、改善すべき課題等、多くのことに気づくことができました。良いところは引き続きさらに伸ばせるように、課題は急速に改善を図るよう努力してまいります。特に保護者の皆様のご意見・ご要望にしっかり耳を傾け、迅速に対応できる体制の変革を図ると共に、業務運営全般についての厳正・透明な処理に努め、今まで大切に積み重ねてきたことを維持し、職員一同力を合わせ、更なる向上を目指した保育・園運営をしていきたいと思っております。

現在、当保育園では、保護者の方々のお力添えも大きなものとなっており、円滑な保育やさまざまな行事など、保護者の協力なしでは成り立たず、いつも感謝をしております。

お忙しい中アンケートにご協力いただいた保護者の皆様、評価をいただいた評価委員の方々、ありがとうございました。

芙蓉保育園

